

# 夏休み終了！学校再開！前期末考査直前！

8月19日(月)に始業式が行われ、学校が再開しました。

冬休みまで約4ヶ月、個人としても学校としても重要な出来事が数多くあります。お互いに切磋琢磨し、励まし合いながら頑張りましょう。

始業式において熊谷校長先生から「あきらめる」(諦める)の語源について講話がありました。私たちには「仕方がないと断念する」と考えがちですが、語源を調べると「物事の真実を見抜いて明らかにすること」とある。最善を尽くして今の自分の真実(力量)を見極めて、次の希望に向かって突き進むことであり、中途半端に投げ出すことではない。自分自身の可能性を見極めるこそが大切である。自分自身と向き合うことに取り組みましょう。



『みやきた新聞』は、地域の方々に宮古北高等学校をつと知っていたために発行を開始した情報発信紙です。勉強や様々な行事に生き生きとがんばっている生徒をご覧ください。



## 8月号

令和元年8月20日発行  
岩手県立宮古北高等学校

## 8月宮北の森

- (1) 8月各学年生活目標
- (2) 深山先生スピーチ「出会いが自分を変える」
- (3) 小規模校サミット報告(鈴木勇気君 佐臼玲史君)
- (4) 青山学院高等部交流報告(生徒会)

各ホールーム委員から今月の生活目標が発表され、3年成田さんから挨拶の励行の取組について提言がありました。深山先生からは、高校時代の震災ボランティアでの出会いが自分の進路を明確にした。高校時代の多くの経験と出会いを大切するようにアドバイスがありました。小規模校サミットに参加した佐臼君は、他校の地域交流活動を参考にしたいとの報告がありました。

青山学院高等部との交流に参加した生徒会からは、2020東京オリンピックが復興オリンピックについていることに温度差があり、そのように向き合っていくことになりました。



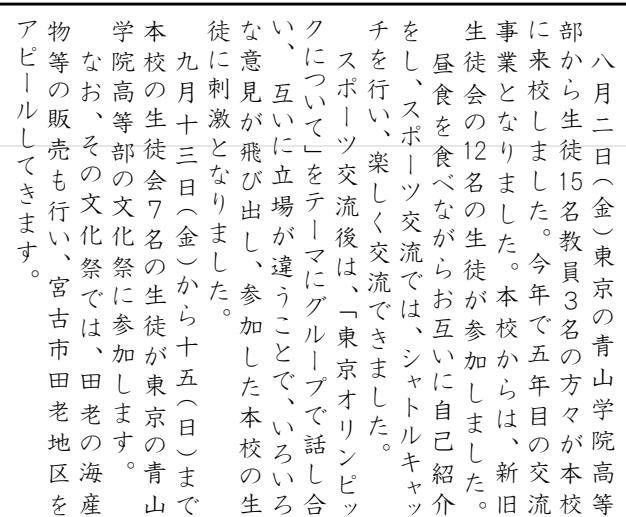
## 全校遠足(震災学習列車活用スクール)

7月19日(金) 実施

今年は三陸鉄道の震災学習列車を活用し、釜石市鶴住居の「いのちをつなぐ未来館」、山田町の「鯨と海の科学館」を訪れ、復興教育を主体とした遠足を実施しました。防災意識を高め、震災を風化させないようする上で、貴重な経験をしました。生徒一人ひとりが震災を語り継ぐ者として自覚を持ちましょう。



# 青山学院高等部との交流会



## 職場体験学習

